

パブリックコメント提出意見一覧

資料 2 - 3

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
1	p1 表紙	(仮称)新生ふくしま創造プラン ～ふくしまを“観てもらおう”“話してもらおう”“伝えてもらおう”～に副題としては、いかがでしょうか。 復興しているふくしまの姿を観てもらいたい。(全国の皆さまに)
2	p2 はじめに	「県民に県政にかかわるあらゆる情報を迅速に公開し」を、「県民の参画を得ながら」の前に挿入する。 理由：県政に関わる各種情報の提供を受けなければ意見を述べることができず、ましてどのような姿勢で参画するかを決めることはできない。
3	p2 はじめに	・ P2L25 「実効性を重視した計画」において、県民の参画を求めているが、どのような参画を考えているのか不明である。また数値指標を活用した進行管理について、PDCAサイクルの一環として活かされているように思われない。審議会等で議論するだけでは不十分であり、進行管理における数値結果そのものをパブリックコメントにかけ、県民の意見を聞きホームページ等を通じてそれへの対応を県民に公表すべきである。
4	p2 はじめに	・ P2L28 「(3)東日本大震災・原子力災害からの復興・再生の視点を反映した計画」において、計画間の「整合」や「参考」という言葉が使われているが、福島県総合計画が他都道府県のそれと決定的に異なり、しかも福島県の独自性が展開できる理念は、「福島県復興ビジョン」の第1の基本理念に掲げられた「原子力に依存しない社会」であり、総合計画においてもこの基本理念をそのまま継承すべきである。「整合」や「参考」との関係で、この理念が薄められないようにしなければならない。「原子力に依存しない社会」は原発廃炉や再生可能エネルギーの普及を契機とするが、エネルギー政策のみならず、国土構造、福島県土構造を中央集権から地方(地域)分権化する大きな広がりを持っており、社会的共通資本整備(自然環境・建造環境・制度インフラなど)のあり方、県民の生活様式(省エネ・脱マイカー・コンパクト化など)、産業構造(先端的な医療・福祉・ITCなどグリーン産業化)、地域経済循環のあり方(地消地産)、医療・教育・福祉・介護サービスのあり方、などに対して転換を展望できて、はじめて実現できるものである。
5	p3 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 全体	・ P3「第1章ふくしまの特性と時代潮流」については、別途、個別にコメントするが、文章が羅列的箇条書きで論理性が全く弱く、それだけでなく内容においては稚拙レベルである。福島県史などを読む、あるいは歴史学者の意見を聞き、全面的に書き直す必要がある。このままでは県庁の知的水準が疑われ、県民として恥ずかしい。
6	p6 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 1 ふくしまの歴史	・ p6「1 福島県の歴史」についてであるが、地図を多用するなど分かりやすさを狙っていることは理解できるが、文章説明が羅列的であり論理的でない。
7	p6 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 1 ふくしまの歴史	・ P6L8 福島県の県土構造について江戸時代の藩分布から論じているが、廃藩置県による分割統治といった歴史を正しく把握して説明するべきである。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
8	p6 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 1 ふくしまの歴史	・ P6L11 特に福島市に県庁がおかれた理由は、ほんとうにそうなのか、「福島県史」等で確認すべきである。
9	p9 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 1 ふくしまの歴史	県民が避難生活を余儀なくされました。→過去形ではない。 2011年3月11日以降の福島県の記述が欲しい。 ・原発事故により人が住めない地域があること ・多くの人々が故郷に帰れないこと ・歴史や文化・生活が奪われてしまったこと
10	p11 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 2 ふくしまの特性 (2)多極分散型の県土構造	多極分散構造の考え方は交通網の発達した今、そぐわない。県庁所在地を福島市から県中へ移転することを計画に入れることが、あらゆる面で活性化につながる。 ●分散している核の集中による県外からの逆ストロー効果期待(12P) ●炭酸ガス排出抑制、省エネルギー貢献 ●福島空港の使用促進●行政コストの削減●隣県との交流が便利になる(水戸、新潟、仙台、宇都宮)●県民への保安活動と緊急医療の迅速化(他にも利点は書ききれないほどあります)
11	p11 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 2 ふくしまの特性 (2)多極分散型の県土構造	七つの生活圈、これまでは七つであった。3.11以降、相双地域を現状維持することは困難である。 相双地域は分割再編する必要がある。
12	p12 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 2 ふくしまの特性 (3)東北圏と首都圏の結節点	福島県が首都圏から200km圏内にあるという記述は誤解を招く表現です。最南端の白河がかろうじて200km以内ですが、そのほかの主な都市はそれ以上の距離があります。
13	p12 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 2 ふくしまの特性 (3)東北圏と首都圏の結節点	・ P12L11 結節点における優位性についての記述が欲しい。工場進出などにおいても優位性があるはずである。
14	p12 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 2 ふくしまの特性 (3)東北圏と首都圏の結節点	「東北圏と首都圏の結節点」とあるが、この図からは何が結節点かわからない。結節点の意味合いを考えて、再検討すべきである。
15	p13 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 2 ふくしまの特性 (4)交流・産業を支える産業基盤	・ P13L14 「(4)交流・産業を支える社会基盤」について、ここでは「廃炉」が「求めています」だけでなく、「原子力に依存しない社会」の「実現に向けての第1歩である」として、明示する必要がある。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
16	p15 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 2 ふくしまの特性 (6)豊かな自然、地域資源	豊かな自然・地域資源の福島県であるが、原子力災害によって多くの資源が奪われてしまった。そのことについて詳しく記載すべきである。 また、図に掲載されている「夜ノ森公園」には「原子力災害により現在立ち入ることができない」とキャプションをつけるべきである。
17	p16 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 2 ふくしまの特性 (7)ゆとりある生活環境と温かな県民性	・ P16「(7)ゆとりある生活環境と温かな県民性」の記述は、羅列的箇条書き的であり、論理性が全く見られない。
18	p18 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (1)人口減少・高齢化	・ P18「3 時代の潮流 (1)人口減少・高齢化」においては、県全体の将来推計人口だけでなく、市町村別の将来人口推計による行動もマップで示すべきであり、それによって福島県内の地域問題をクローズアップすることができる。
19	p19 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (1)人口減少・高齢化	19ページ18行目 県外避難者の帰還や人口流出の抑制に向けて、原子力災害の収束、良好な環境の回復が急務となっています。☆(この部分はいらないと思う。命の方が大事！死ねと言うんですか？子どもたちの甲状腺の異常があるのに……。このままだと流産でなく死亡で減少ですね……。)
20	p19 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (1)人口減少・高齢化	記述の仕方として、原子力災害＝放射能汚染の問題を前面に出した書き方にすべき。
21	p20 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (2)世界経済の一体化・多極化	・ P20「(2)世界経済の一体化・多極化」については、やはり世界将来人口推計から世界構造のシステム的变化を展望してほしい。P23の「今後の展望」についても同様である。
22	p22 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (3)食料、資源・エネルギー問題に対する関心の高まり	・ P22L16 「しかし」以降の記述は原発推進なのかとの誤解を招く。コスト面をかたるのであれば、バックエンドコストについても語るべき。
23	p22 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (3)食料、資源・エネルギー問題に対する関心の高まり	「しかし、発電コスト、…世界全体では原子力発電所が進められています」とあるが、本当にそうか？ 3.11以降は抑制的ではないのか？確認して欲しい。

※ 対応方針は、現在検討中です。

	ページ	該当箇所	意見内容
24	p24	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (4)自然災害、原子力災害に対する関心の高まり	「被害をもたらしました」と過去形になっている。しかし、被害は現在も進行している。表現は現在進行形の方が良い。
25	p25	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (4)自然災害、原子力災害に対する関心の高まり	・ P25L9 負の遺産の前に「人類史的に」を挿入してほしい。「原子力に依存しない社会」への出発点でもある。
26	p25	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (4)自然災害、原子力災害に対する関心の高まり	この部分は大事なところである。もっと強く脱原発を訴えるべき。
27	p26	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (5)情報化社会の進展	・ P26 「(5)情報化社会の進展」については、情報化に関わる客観的とも思われる記述があるが、これが福島将来にどのような影響をもたらすのか、展望についての記述が欲しい。
28	p26	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (5)情報化社会の進展	SNSの問題点を挙げているが、一方で政府・県等が「正確な情報」を発信できなかったため、ともいえる。一方的な記述は表現の自由を妨げることにつながる。
29	p28	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (6)ライフスタイルの変化	「家族間のコミュニケーションや繋がりが希薄になりやすい傾向」とあるが、3.11以降逆に家族指向になったとの記述もある。震災の影響もあるようなので確認して欲しい。
30	p29	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (6)ライフスタイルの変化	・ P29 「ライフスタイルの変化」については、高齢社会・「原子力に依存しない」省エネ社会などを展望し、自動車依存のスプロール型社会から「歩いて暮らせる」コンパクト型社会への転換をもっと強く語るべきである。産業・経済・社会・文化・教育・子育てなど「空洞化の危機」にある福島の状態をシビアにフォローするべきである。
31	p30	第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (7)分権型社会への移行	・ P30「(7)分権型社会への移行」にかかわり「今後の展望」について、県はどのような役割を果たしていくべきなのか。特に福島県では中核市が登場したことで、県は国と市町村の中間的役割をどのように果たしていくのか。道州制導入という圧力が高まる中で、県がどのような役割をはたしていくべきかを明確にしていく必要がある。それだけでなく、中間組織としての「県」は不要にならう。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
32	p30 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 3 時代潮流 (7)分権型社会への移行	地方分権のデメリットが今回の震災で明らかになった。国と市町村が直接やり取りをしているため、県としての方針が打ち出しにくくなっている。県の存在価値が問われている状況だともいえる。しかし、広範囲におよぶ被害が発生しているため、広域的な方針は必要である。残念ながら県がリーダーシップを発揮しているとはいえない状況が続いている。是非とも県がリーダーシップを発揮するというような意気込みを示して欲しい
33	p32 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 4 ふくしまの人口と経済の展望	・ P32「4 ふくしまの人口と経済の展望」については、希望的なシナリオAと厳しいシナリオBとの間をたどることが予想され、それぞれの試算結果が出されているが、どのようななどのようなデータを使い、どのような計算プロセスを経たのか、それぞれの根拠資料を末に参考資料として掲載するべきである。
34	p32 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 4 ふくしまの人口と経済の展望	32ページ 私はこのままなら来年度福島から出たいと考えています。原発の影響が恐ろしいからです。友人たち家族もそうです。やはり、20才以下の子どもたちに保養の義務化(ペラルーシはありますよね)また、子供を持つ親に、保養について行く保養休暇の義務化がなければ安心して子育てできません。また福島県からの高速料金の無料化。保養先の建設。もしくは提携で無料で行ける場所の確保。もしくは食費のみで行けるようにしていただきたい。そうでなければ子どもたちは病気になるばかりです。医療費がかかります。また、ペラルーシと同じように移住権利地域、移住地区など定めて欲しい。福島市、郡山市はもちろん高い線量の所はたくさんあります。
35	p36 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 4 ふくしまの人口と経済の展望	・ P38「産業別試算結果」についても、それぞれの試算結果が出されているが、どのようななどのようなデータを使い、どのような計算プロセスを経たのか、それぞれの根拠資料を末に参考資料として掲載するべきである。
36	p36 第1章 ふくしまの特性と時代潮流 4 ふくしまの人口と経済の展望	復興特需をシミュレーションにどう反映させるのか、また特需終了後の反動をどう考えるのか、そのあたりの記述が欲しい。
37	p41 ～ 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 全体	・ P3「第2章ふくしまの目指す将来の姿」については、これも別途、個別にコメントするが、総合計画改訂版が掲げようとしている基本目標や将来の姿と県復興ビジョンの基本理念とがどのような関係性にあるのか明確ではないので、明確にすべきである。上記したように福島県が世界的に誇れる基本理念は、「原子力に依存しない社会」の実現である。この基本理念を基本目標の第1に掲げるべきである。
38	p43 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 1 基本目標	・ P43～45「2 基本目標」に関する記述がされていない。これ以下の叙述をコメントする基準になるはずなのに、まったく書かれていない。一体、何を議論すればよいのか、まったく理解に苦しむ。基本目標が掲げられない下で、主要施策が展開できるのでしょうか？
39	p45 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 2 礎と3本の柱	・ P42「第2章ふくしまの目指す将来の姿」における「1 礎と3本の柱」について、「人と地域」「活力・安全」「安心・思いやり」が示されていますが、原子力災害は人間存在の前提としての「自然」を人間から奪ってしまっている。「原子力に依存しない社会」の観点からすれば、放射能汚染のないことが「自然と人間」との間で持続可能な循環性を確保すること大前提として記述するべきである。これは「安全」「安心」を確保することでもあり、「活力」を再構成できることになる。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
40	p45 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 2 礎と3本の柱	第2章のふくしまの目指す将来の姿に1礎と3本の柱とあり、礎は「人と地域」となっています。しかし、礎は福島県民が共有する基本的な考えを示し、計画の指針となるべき事項です。「人と地域」を掲げるのであれば、一人ひとりを尊重すること(人権尊重)が基本になると思います。福島県民は不本意ながら偏見も不平等も経験したはずで、総合計画にはその経験を活かすべきで、県条例「男女共同参画」の理念を礎と3本の柱に盛り込むことを提案いたします。
41	p45 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 2 礎と3本の柱	〈該当箇所〉「いきいき ふくしま創造プラン」は、 「人と地域」を県づくりの礎、「活力」「安全と安心」「思いやり」 〈意見内容〉 生ぬるい言葉ではなく『命を守る』ということを 本当の中心に据えてください。 特に子どもたちの放射線による健康被害を最小限にするためチェルノブイリ法から学び 線量の高い区域からでも県内外の線量の低い地域への『長期学習・交流研修』のような名目で保養と交流 医療を組み合わせた3週間以上のプログラムを毎年継続的に行うことで安心がより感じられ 30年後ふりかえったときに 発病が抑えられたことを福島県民として誇れるようになっておもしろい！ 『長期学習・交流研修』(仮)は、過疎の地域などでおこなわれることにより地域の医療や 交流や 観光産業 人材育成 複合的に効果が上がるようクリエイティブに効果を挙げていけるのではないのでしょうか？
42	p46 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	浜通り地域と 中通地域の 除染作業は緊急かつ早急に実施して 年間外部被曝量を 1mSb以下にして行く作業を進めないで この地域は 避難・移住により人口減少が加速して 地域コミュニティーの維持は困難となる、若年層の避難者・流出を今止めないと 永久に地域の維持が出来ずに 廃屋のみがのこる 高島炭鉱の様になってしまう。
43	p46 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	・ P46「3 目指す将来の姿(30年後の将来像)」については、原発破綻で明らかになった前倒し的な構造的な問題(少子高齢化など)を解決していくという視点が重要である。
44	p46 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	・ P46「(4)まちづくり・地域づくりの視点」について、コンパクト性を明確にすることが必要である。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
45	p46 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	もともとの総合計画の「目指す将来の姿」で「ふくしまの礎」として掲げられていた「人々がはつらつとして活躍する社会」が、改定(案)では削除されている。 具体的に掲げられていた項目の1つである「高齢者がいきいきと活躍している社会」については、改定(案)の「文化・スポーツ、人々の活躍の場づくりの視点」の中に場所を移し記載されているが、「あらゆる場面で性別にかかわらず、男女とも自らの能力を発揮できる社会」は、「ふくしまの礎」から姿を消し、「柱3」で「思いやり」の中で記載するに留められてしまっている。 性別にかかわらずとも参画し責任を担う社会を目指す男女共同参画の考え方は、震災や原発事故によりその重要性が下がるものではないし、むしろ、復興のためには不可欠な考え方ではないかと思う。また、「思いやり」で推進するものとは思えない。 一度「ふくしまの礎」に据えた項目は、震災や原発事故に関する事項でない限り、削除することなく、「礎」として残すべきではないか。視点の1つとして「人々がはつらつとして活躍する社会」を据え置かず、その内容を全て「文化・スポーツ、人々の活躍の場づくりの視点」へ移すべきと考える。
46	p46 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	「避難地域では、放射性物質の除去が進み、安全で安心に暮らせる社会が…」とあるが、適切か？むしろ「住めない地域があるが、新たなコミュニティのもと新しい生活が送れるようになっている」といった書きの方が現状に即しているのではないか。
47	p46 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	また、3目指す将来の姿(30年後の将来像)ですが、[ふくしまの礎]人と地域が輝く“ふくしま”には、(1)出産・子育ての視点があるのですが、そこに記載されている文章はまさに男女共同参画が推進する社会像ですから、(1)は男女共同参画の視点の方が適切かと思います。本来はその視点のある出産・子育てが重要です。30年後、多様な生き方が社会に受容されているのであれば、福島県は男女共同参画社会が形成されたことになると思います。
48	p47 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	49ページに掲載の「多様性の尊重」という事項を目指す将来の姿の全体指針として示されたい。人権尊重および男女共同参画については各論ではなく、県政の根幹にかかわる上位指針であることを明示しておかなければ、既出の(1)出産・子育て、(2)教育…以下すべての要項にかかわる基本指針としての位置づけがあいまいとなり、施策の優先順位が下がってしまうため。
49	p47 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	・「多様性の尊重」は、将来の姿の全体指針とすること。 人権尊重及び男女共同参画は、各論ではなく、福島県政の根幹に関わる上位指針として明記すること。
50	p48 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	浜通り地域と中通地域の 住民は今後20年~30年後に 願になるリスクを抱えて生活することになるので 広島・長崎の被爆医療を参考にして 治療の拡充が必要になる。
51	p48 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	・P48 高齢社会及び原子力災害からの復旧復興については、世界に提供できる「モデル」を構築し、発信するという気概をもっと強く出してほしい。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
52	p48 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	48ページの5 原発は収束宣言はありますが、安心ではありません。ウソを書かないでください。
53	p48 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	「福島県のうり」は何か、それが見えてこない。「福島県」という表現がなくとも、文面から「福島県」だということがわかるような何か欲しい。それは、今後の福島県の方針にもなるといえる。
54	p49 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	・ P49「(1)多様性の尊重の視点」については、多文化共生、ジェンダー視点をもっと強化するべきである。
55	p49 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	「性別にかかわらずなく、男女が自らの能力を」とある中に、「セクシュアル・マイノリティ」についての表記も加えられたい。人権の観点から、性別の多様性について男女二分法でなく表記し、30年後の姿として性別の多様性が認められる社会であることを具体的に示す必要があるため。
56	p49 第2章 ふくしまの目指す将来の姿 3 目指す将来の姿(30年後の将来像)	「性別にかかわらずなく、男女が自らの能力を発揮できる社会」は、男女共同参画が進み、あらゆる人権に配慮したなどすべき。性別、男女という区別では、全ての県民を網羅できないものであることを、考慮していただきたい。
57	p51 ～ 第3章 政策分野別の主要施策 全体	・ P3「第3章政策分野別の主要事業」については、原子力に依存しない社会をいかに実現していくのか、将来の姿を描くべきである。そして、政策分野別の主要施策に貫徹させるべきである。残念ながら主要施策は、各部課係の当面の事業の延長線でしか描かれていない。
58	p51 ～ 第3章 政策分野別の主要施策 全体	・ 全体として、「指標」がどのような意味を持って掲げられているのかを説明すべきである。何らの説明がなされていない。
59	p52 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て	「日本で最も優れた子育て環境作りを目指す」といった内容が欲しい。
60	p52 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て	なぜ不安が高まったのか、「適切な情報提供がなされなかったため」といった反省の意味を込めた記述が必要。
61	p54 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て	54ページ 子どもだけでなく全員の医療費を無料にして検診をしなければいけません。19才の子どもだって子供は産みます。1才差でも変わらない。現に今も中年の人間の死亡率が増えています。こんなに死ぬのはおかしい。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
62	p54 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て	この項目では、まず最初に「放射能の影響に対する情報提供」が必要である。安心して出産ができる県になるためには避けては通れない項目である。
63	p54 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て	不妊治療については、「教育」も必要である。卵子の老化等も含め、早い時期からの啓蒙活動が重要である。また、治療に必要な費用は高額なため、助成だけでなくもう一歩踏み込んだ対応策が求められる。
64	p54 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て	② 安心して子育てができる環境づくり 追加 「原発事故子ども・被災者支援法」(2012年6月21日成立)の実行力を高める ・支援法第5条3項に合わせて、自治体として積極的に参加すること。 ・県内放射能汚染状況の影響を考慮し、生涯被曝量の低減化を図ること。 ・児童・生徒の集団長期保養等を実現すること。 ・自主避難保護者と積極的に情報収集を図り、諸対策を図ること。 ・子どもたちが優先的に使用できる屋内体育館や1年中使用できる屋内プールを増設すること。 ・今後、予想される様々な病気等に対して、保護者が安心して相談できる体制を整えること。
65	p54 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て	【復興】子どもの医療費無料化に関する取組（修正案） 子どもの健康を守り、県内で安心して子どもを産み、育てやすい環境づくりを進めるため、18歳までの子どもの医療費を無料化します。また、2011年3月11日時点、福島県に居住していた18歳までの子ども(胎児も含む)の医療費を生涯にわたって無料にします。
66	p56 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(1)出産・子育て	・P56など ライフスタイルに対応した体系的な施策とすべきである。例えば、年齢別でどのような施策があるのか。
67	p58 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	・P58 「(2)教育」については防災教育が強調されている。その重要性は当然のことながら、人がどのように育って行くのかという観点から、まとめていくべきである。
68	p58 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	震災の教訓を反映させた教育が必要である。
69	p58 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	もう少し細かく書き込めないか。避難地域では学校が再開できず廃校になるケースもある。地域の核であった学校がなくなることは地域の崩壊にもつながってしまう。そうした危機的状況にさらされていると書く必要がある。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
70	p60 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	・ P60 「①知・徳・体のバランス良い育成…」についてですが、施策がなんか、クローズドな感じがする。もっと地域との交流で園児・児童・生徒・学生が育って行くという視点を強調するべきである。
71	p60 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	・ P60 「公立大学における人づくり…」については、県内国立・私立大学との連携の在り方も提示すべきである。公立大学だけで福島県が抱える課題に対応できるものではない。
72	p60 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	「震災の教訓を生かした道德教育の充実」の意味がわからない。また「心のケア」の対応は「スクールカウンセラーや相談体制の充実によって図られる」という発想が根本的な誤りであり、日頃の学校生活を共にする教職員の充実とその支援が望まれる。そのためにも教職員の増員と学校施設設備の充実が求められる。
73	p60 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	「職場体験活動」「インターンシップ」は、キャリア教育を構成する一つの要素であることは確かであるが、それがキャリア教育だと誤解されてしまった問題がすでに多方面から指摘されている。むしろ、 <u>日常の学校生活や家庭生活など基本的な生活スキルの獲得が重視されている</u> 。また、「 <u>勤労観・職業観</u> 」についても新学習指導要領や中教審などで見直しが進められ、 <u>基礎的学力とその汎用性の方が重視されている</u> 。
74	p60 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	被災地域に限らず県内全体で職場体験やインターンシップに対応できる余力を持った事業所が限られており、 <u>小中学校におけるキャリア教育の在り方について発想の転換と地域に即した工夫が求められる</u> 。高校段階では、中教審答申でも指摘されているように専門高校における実習等の充実を図るとともに <u>進学校のキャリア教育の在り方の検討とその実際について一層力を入れるべきである</u> 。受験学力偏重の方針が矮小化した人材を輩出していることを反省すべきである。
75	p60 ～ p61 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	【復興】の項目が下の方になっているが、それぞれ一番上にもってくる。
76	p61 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	・ P61 「教員の資質向上に資する取組」については、今、教員の自律性・自立性が落ちており、単なる評価制度の強調ではなく、自主性・内発性を重視する制度的運用が望まれる。
77	p62 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	・ P62 学校が地域コミュニティとの交流拠点(それは防災であっても)にすることをもっと強調すべきである。
78	p62 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(2)教育	この項目が一番重要ではないか？

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
79	p64 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(3)文化・スポーツ、人々の活躍の場づくり	「文化財などが被害を受けているとともに、(付け加え)人口流出により(付け加え終わり)伝統文化の…」
80	p66 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(3)文化・スポーツ、人々の活躍の場づくり	・ P66「①文化の振興…」について、他の箇所とは異なり、かなり固有名詞的な事業があげられているが、他の箇所とのバランスを取ってほしい。
81	p66 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(3)文化・スポーツ、人々の活躍の場づくり	この項目を一番上に持って行く。それとともに、災害を契機として失われそうな文化(行事等含む)に対してのアーカイブス化を目指すことが求められる。
82	p66 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(3)文化・スポーツ、人々の活躍の場づくり	重要な文化財の保存は県民の貴重な財産としてとらえ、動画映像、古文書等電子データ化を行って、後世への継承並びにインターネットの活用によって、幅広く伝えます。〈写真とかではなく、動画でアピールしたい 従来の手法ではなく〉
83	p67 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(3)文化・スポーツ、人々の活躍の場づくり	県の施設の活用とともに、観光にも結びつけることが必要。あわせてこれら施設を「文化発信基地」として位置づける。
84	p67 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(3)文化・スポーツ、人々の活躍の場づくり	県立美術館、県立図書館、県立博物館、県文化センター、文化財センター白河館にある先代の貴重な美術品、郷土資料、古文書、歴史的な価値のある埋蔵品を動画映像並びに書籍等電子化したデータによって永久保存を行うとともに、インターネットを通し幅広く県民はもとより、国内外にアピールを行って充実を図る。
85	p72 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり、地域づくり	市街地活性化では、再開発指向ではなく、歴史文化に根ざした魅力的なまちづくりを目指すべき。スクラップアンドビルドではなく、いいものを活かすための施策が求められている。
86	p72 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり、地域づくり	・公共交通機関の利用促進に関して、「パークアンドライド」と企業・団体の認証しか挙げられていないのは、他県の交通政策と比較して乏しい内容である。モビリティ・マネジメントの推進、ターミナルのバリアフリー化やシームレス化(異なる交通機関、事業者間においても継ぎ目なく連絡できる環境の整備)の推進は位置づけておきたい。
87	p72 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり、地域づくり	① 鉄道の輸送力改善に関して、新駅設置や輸送力増強を要望するのはJR東日本のみとなっているが、私鉄・三セクは対象にならないのか。 ② JR東日本に対するアプローチは、JR常磐線やJR只見線の一部区間が長期にわたり不通となっている状況に対してこそ、代替手段の確保や早期復旧への道筋をつけることを優先させるべきではないか。(p.126の⑤に記載はあるが、両線の在り様はJRの判断によるところが大きいことから、この部分にも記載が必要と考える)
88	p72 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり、地域づくり	・生活交通の確保に関して、「まちなか循環バス」と「デマンド型交通システム」が具体的に例示されているのはなぜか。これらの施策は、市町村が中心となって取り組むべき政策であり、県が進めるべき政策としては、市町村間に跨る広域的・幹線的な生活交通を確保・維持・改善することの方が重要である。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
89	p72 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(4)まちづくり、地域づくり	・トランジットモールや「歩いて暮らせるまちづくり」が位置づけられているが、そもそも「土地利用」の政策と公共交通政策が一致してこなかったことにこそ、問題があるとする。これらを一体に考えるプラットフォームづくりを進めていく必要があるのではないか。
90	p76 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(5)過疎・中山間地域	3/12-3/15に双相地域から非難出来ずに残留していた人たちは、相当量の放射線ガスを浴びていた可能性が高いので(主にヨウ素) 今後5年間は集中して甲状腺検査をしてゆく必要がある、中通り地域においても 3/13-3/15に屋外で活動をしていた人たちについても、放射性ガスを吸いこんでいる可能性が高いことから、年少の児童生徒については 甲状腺検査を10年間注視する必要がある。
91	p76 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(5)過疎・中山間地域	いわき市と南相馬市間の交通・流通を早急に確立して 浜通り地域を分断しない施策を実施する必要がある、具体的には 国道6号線・常磐線を放射線から防御できる 遮蔽物・コンクリート枠で 覆って 南北間で通行が安心して行える 環境を実現すべきである。
92	p76 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(5)過疎・中山間地域	原子力災害による山地・森林汚染は深刻である。これにより「山の幸」が奪われてしまった。状況ではこのような事実にも触れるべきである。
93	p78 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(5)過疎・中山間地域	この項目内に、山の幸に放射性物質が出ないような取組を入れるべき。
94	p79 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(5)過疎・中山間地域	この項目内に、山の汚染対策を入れるべき。
95	p79 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(5)過疎・中山間地域	自然災害対策に関する取組に、防災無線の全県への普及・整備を入れるべき。
96	p80 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(5)過疎・中山間地域	・ P80L3 奥会津は特出しになっているが、阿武隈は特出ししないのか。
97	p80 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(5)過疎・中山間地域	・ P80L19 奥会津を特出しするのであれば、その数値目標も提示すべき。
98	p82 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(6)避難地域の再生・避難者の生活再建	廃炉に伴う地域経済の落ち込みが書かれているが、逆に廃炉需要もあるのではないか？

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
99	p82 ～ p87 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(6)避難地域の再生・避難者の生活再建	・避難地域の再生・避難者の生活再建のなかで、道路整備以外の交通分野の政策が欠けている。避難者の社会生活(働く、学ぶ、買う、交流する、受診するなど)を包括的に支援するための方策を明確に位置づけるべきである。その意味では、民間サービスの確保(p.85・3行目～)とモビリティ(移動手段の確保)を一体的に記し、政策形成することが有効である。
100	p84 第3章 政策分野別の主要施策 人と地域(6)避難地域の再生・避難者の生活再建	・ P84L7以降 ここに30年後の取り組みのヒントがいっぱいあると思うので、総合計画全体の記述に還元していく必要がある。
101	p88 第3章 政策分野別の主要施策 活力(1)農林水産業	「また」の次に、「水源林を保全し」を挿入する。 理由:農業水利施設の保全の前に、水源林の保全が肝要である。 識者は、近年外国資本による国内森林の買収の進行に対して警告を発している。(安田喜憲・平野秀樹著「奪われる日本の森」参照)
102	p90 第3章 政策分野別の主要施策 活力(1)農林水産業	「安全な農産物」の次に、「特に有機農産物(JAS)」を挿入する。 「生産」の次に「普及」を挿入する。 理由:県内には有機農産物認定(JAS)農家が相当数存在する。 抽象的でなく具体的に支援の方策を明示すること。
103	p91 第3章 政策分野別の主要施策 活力(1)農林水産業	<p>〈該当箇所〉農林水産業 3・地産地消に関する取組?の項目</p> <p>〈意見内容〉 安全面でも 経済面でも当面放射能汚染の影響があると予測されるので食料としての農産物だけでなく綿花や麻、からむしなど繊維やバイオ燃料資材としての農産物の栽培と特に 薬効のほとんどない産業用大麻は ぜひ福島でブランド化もしくは栽培特区化してほしいとおもいます。</p> <p>産業用大麻栽培特区の挑戦 ～北海道北見市の巻～ http://www.hemp-revo.net/report/0902.htm http://blog.livedoor.jp/hardthink/tag/%E7%94%A3%E6%A5%AD%E7%94%A8%E5%A4%A7%E9%BA%BB</p> <p>3 ① 再生可能エネルギーの導入拡大。に 関連して 行くことと思います。</p> <p>再生可能エネルギーに関しては 水路などの小水力発電活用の推進などのための規制の緩和もぜひ取り入れてほしいと思います。(実際には まだまだ帰省がネックになって実現できないと聞いています。) それらの産業の振興についてもふれているところはとてもよいと思います。知恵を出し合い本当の豊かさのある福島をぜひつくっていかねばとおもいます。</p>

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
104	p92 第3章 政策分野別の主要施策 活力(1)農林水産業	「木材乾燥施設」を「木材加工流通施設等」の前に挿入する。「木材セルロースの糖化の研究」も追加する。 理由：現代工法では森林伐採後、短期間に加工理由することが必要である。林野庁と秋田県では共同して微生物または菌類を利用した木材セルロースの糖化(エチルアルコール化)の研究を進めている。県内では人的にも準備不足であるが、長期的に考えれば木材資源の再生可能エネルギーとして利活用の道が開かれる。
105	p92 第3章 政策分野別の主要施策 活力(1)農林水産業	森林除染について触れられていないのはなぜか？
106	p106 第3章 政策分野別の主要施策 活力(3)再生可能エネルギー	「バイオマス」の次に「潮力(波力)」を挿入する。 理由：潮力利用の発電も技術的に可能。再生可能エネルギーとなりうると考える。
107	p110 第3章 政策分野別の主要施策 活力(4)雇用・産業人材の育成	(追加)また、景気や大企業の動向に大きな影響を受ける雇用情勢に対して、創業による就職を推進し支援をすることで、いきいきとして活力に満ちた創業者を創出し、雇用の安定性向上と自律的な社会構造を構築します。
108	p110 第3章 政策分野別の主要施策 活力(4)雇用・産業人材の育成	(現在)その結果、雇用の二極化と給与所得の減少が進行しています (修正案)その結果、雇用の二極化、給与所得の減少、雇用のミスマッチが進行しています
109	p112 第3章 政策分野別の主要施策 活力(4)雇用・産業人材の育成	・ P112「②労働環境の改善…」については、正規雇用を増やすことが、労働環境の改善に大きく貢献するので、数値指標に掲げるべきである。
110	p112 第3章 政策分野別の主要施策 活力(4)雇用・産業人材の育成	・ 創業者支援に関する取組 いきいきとして活力に満ちた働き方として、創業を支援します。創業者を対象として、県が行う助成金・補助金、各種融資制度、表彰につき優先的に適用をし、経営能力の育成、事業基盤の整備、事業拡大を支援します。
111	p112 第3章 政策分野別の主要施策 活力(4)雇用・産業人材の育成	経産省の社会人基礎力のようなものをイメージしているようだが、それ自体が漠然としており、あえてここで取り上げるほどの内容かどうか疑問である。内閣府雇用戦略会議やそのワーキングでも議論の一つとなっている。なお、具体的な方策として労働局などの地域訓練制度等の活用も明記してはどうか。
112	p113 第3章 政策分野別の主要施策 活力(4)雇用・産業人材の育成	相談対応そのものの効果については疑問視されている。就職ビジネスに丸投げしたままの支援活動が一層硬直化を生み出している。就職活動支援にはキャリア教育ではなく受け入れ事業所の活性化や意識改革、雇用体制の見直しなどが必要であり、そのことが職場定着の促進にもつながる。地場産業の復興のための道筋を明確にすることが若者の就労意欲につながる。
113	p118 第3章 政策分野別の主要施策 活力(5)観光・交流	・ 国内観光の受け入れに関して、原子力災害等による観光産業の直接あるいは風評被害を克服することも重要であるが、それ以前に、団体旅行に依存した本県の観光スタイルから脱却を図る戦略を描くことが重要であると考えらる。

※ 対応方針は、現在検討中です。

	ページ	該当箇所	意見内容
114	p119	第3章 政策分野別の主要施策 活力(5)観光・交流	③ 定住・二地域居住などによる国内交流のところに 県外移住や避難者との交流というのも ぜひ盛り込んでください。 新規移住者確保に多額の費用をかけるよりも 福島を愛してやまない避難者に どうか門戸を閉ざさないでください。
115	p120	第3章 政策分野別の主要施策 活力(5)観光・交流	被災地での学習観光を取組として入れられないか？放射能汚染で代えることができない地域を教材として、線量 測定体験、避難時・仮設住宅生活の語り部、かつての生活の再現、「仮の町」の視察などを組み合わせたパッケージ。震災を風化させないためにも、取り組む必要があると感じる。
116	p126	第3章 政策分野別の主要施策 活力(6)交流基盤・物流基盤	鉄道だけではなく、「公共交通のあり方」を再考すべきではないか。道路渋滞等を防ぐのに新規道路を作るだけでは なく、代替手段＝公共交通の利便性を高めるといったことも必要である。磐越東線などは不便であるが、利用価値 は決して低くない。既存の交通網のてこ入れも重要である。
117	p131	第3章 政策分野別の主要施策 安全と安心(1)健康づくり・健康管理	意見： 〈該当箇所〉P131（ページ及び行）③ 東日本大震災・原子力災害の影響を踏まえた健康管理を進めます。 〈意見内容〉検討委員会開催前に準備会議を開催し、以下のように、県が主導して委員の意見を誘導する等の 不正行為が認められる。 (2)「県民健康管理調査検討委員会」の会議運営に係る調査報告書 http://www.cms.pref.fukushima.jp/download/1/houkokusyo.pdf 上記PDFの28【取扱注意】ページ参照 以下上記より一部引用 「合計しても1mSv未満であり、相当低いと思われる」や「SPEEDI 再現データ(3月15日の課題)の質疑に終始 しない」等々・・・ 県民健康管理調査検討委員会の全委員の辞職と、監督責任者の佐藤雄平知事の辞職を要求致します。 理由:福島県民の信頼を裏切る行為は許せません。よってこの責任の所在を明らかにしなければなりません。
118	p140	第3章 政策分野別の主要施策 安全と安心(3)介護・福祉	仮設住宅での引きこもりや健康問題、また借り上げ仮設での交流の問題など、課題について触れる必要がある。
119	p152	第3章 政策分野別の主要施策 安全と安心(5)原子力災害対策	「廃炉を着実に」に追加して、「核燃料廃棄物の安全な処理・保管等についての研究を進める。」を挿入する。 理由:脱原発に賛同するものですが、廃炉後のプルトニウムの処理の方法が示されないのでは安全とは言えない。 い。
120	p152	第3章 政策分野別の主要施策 安全と安心(5)原子力災害対策	なぜ原子力災害対策が5番目なのか、一番最初に持ってくるべきモノ。

※ 対応方針は、現在検討中です。

	ページ	該当箇所	意見内容
121	p153	第3章 政策分野別の主要施策 安全と安心(5)原子力災害対策	使用済み燃料の貯蔵数の他に廃炉の過程では、原子炉内燃料があるはず。例えば、第1原発5号機に548体 6号機764体の燃料が炉内にあるはず。4号機1533体本ではないのか。(548体炉内分マイナスか) 新燃料2体取り出し残り202体あるはず。 1号機392体 2号機615体 3号機566体
122	p161	第3章 政策分野別の主要施策 安全と安心(6)大規模災害対策・危機管理体制	・緊急輸送ネットワークに関して、救命救急や(原子力災害等や大火など)迅速かつ広域的な避難を余儀なくされる場面に対応できることが望ましいと考える。その点では、p.124の高速道路や高規格道路の施策と連携させて考えることが有効である。
123	p166	第3章 政策分野別の主要施策 思いやり(1)多様性の尊重	児童虐待、DV、社会参画や労働待遇の実質的な性別格差などについては、「思いやり」の項ではなく「安全と安心に支えられた“ふくしま”」の項に掲載されたい。児童虐待、DV、セクハラ、パワハラなどはいずれも人権侵害の犯罪事象であり、喫緊にとりくむべき行政課題として「思いやり」の項目に含めるのは大きな違和感を県民に生じさせるため。
124	p166	第3章 政策分野別の主要施策 思いやり(1)多様性の尊重	児童虐待、DV等に加えて、性暴力についても施策対応を明記すべきである。国の取り組みとして男女共同参画基本計画(第3次)に明記されている施策であり、また当県においても県警を中心に具体的な取り組みが始まっていることから、継続しての施策の位置づけを明示する必要があるため。
125	p166	第3章 政策分野別の主要施策 思いやり(1)多様性の尊重	・児童虐待、DV、社会参画や労働待遇に実質的な性別格差などについては、「安全・安心に支えられた“ふくしま”」の項に入れること。 ・性暴力被害防止を明記すること。
126	p166	第3章 政策分野別の主要施策 思いやり(1)多様性の尊重	児童虐待、DVIは明らかに犯罪であり、それにより県民の安心安全が保たれないものである。「安全と安心に支えられた“ふくしま”」に入れるべきではないか。また、その中に、震災以前から以後も、きちんと政策されるべき人を守る、県民の人権を守るという力強いプランを掲げていただきたい。
127	p168	第3章 政策分野別の主要施策 思いやり(1)多様性の尊重	原子力災害を背景とする偏見や差別の解消に関する取組-原子力災害を背景とするいわれのない偏見や差別の解消を図るとともに、人権の尊重について啓発、 まず、県が住民の危険不安から守るべく、住民、特に子供たちの避難をすべき。 法律で立ち入りの禁止されている放射線量の中、人々に生活させるなど言語道断。 人権を無視している以外の何ものでもない。 ふくしま集団疎開裁判も、裁判などさせずに、疎開させるのが大人勤め。 人々のふくしまへの批判、不振は高まっていくばかり。 今からでも復興という夢から覚め、放射能公害に真摯に目を向けることを強く望む。
128	p169	第3章 政策分野別の主要施策 思いやり(1)多様性の尊重	・社会基盤整備に関わるユニバーサルデザインの推進について、本県においては、おもに鉄道駅周辺に関わるバリアフリー基本構想が3市で策定されている状況に過ぎないことから、まずは、バリアフリー整備の必要性・重要性を交通事業者や自治体職員に幅広く認識していただく仕掛けをしていくことが必要ではないか。

※ 対応方針は、現在検討中です。

	ページ	該当箇所	意見内容
129	p181	第3章 政策分野別の主要施策 思いやり(3)自然環境・景観の保全、継承	「野生動植物の生息・生育状況を調査し」の次に、「その結果を「レッド・データブック」に収録・再発行する。」を挿入する。 理由：2002年発行の「レッドデータブックふくしま①」(福島県の絶滅のおそれのある野生生物)の内容はその後の調査研究、さらに福島原発事故の影響により、相当変化していると予想される。福島県の野生生物の現状を正しく県民に公開することが肝要と思慮する。生物多様性の保全は県職員・一部の有識者だけでなく、多くの県民の協力なくして達成することはできない。
130	p191 ～	第4章 地域別の主要施策 全体	・ P3 「第4章地域別の主要施策」については、綺麗に描かれているが、各地方振興局からの提案がそのまま乗っている感じがする。「原子力に依存しない社会」を基本理念とする視点から再構成すべきである。
131	p192	第4章 地域別の主要施策 1 地域別の基本方向	七つの生活圏のうち、相双地域は現状のままの維持は難しい。最低でも南部(川内村・広野町・楡葉町)と北部(相馬市・南相馬市)と帰宅困難地域(浪江・富岡・葛尾・双葉)とに分断すべき。これにあわせて県など行政機関の配置の見直し再編すべき。既存の枠組みが相双地域の復興の足かせとなっている。
132	p195	第4章 地域別の主要施策 地域別の基本方向	・ P195「参考データについて」では、市町村の経済活動の状況を概観するために、「市町村民所得推計」の総生産に加え、分配所得、家計所得のデータも追加すべきである。また市町村別ないしは生活圏単位(中心都市と周辺都市とに分けることも)でのデータを掲載すべき。それは地域別計画を理解するためにも必要である。
133	p216	第4章 地域別の主要施策 相双地域	相双地域については、抜本的に見直す必要がある。復帰できるようになったとき、改めて編成し直せば良い。それよりも、現状運用しやすく地域区分の再編を進めるべき。
134	p228 ～ p231	第5章 計画の推進のために 全体	・ P3 第5章「計画の推進のために」については、別途、コメントするが、福島県復興ビジョンの基本理念と復興計画をどのように継承していくのかが問われている。
135	p228 ～ p231	第5章 計画の推進のために 全体	計画の構成 第5章 計画の推進のためにのところには、 復興庁に 地域の声を しっかりとどけるための 明確な窓口も必要だと思います。 福島復興再生特別措置法との連携は どのようになるのかも明記が必要ではないでしょうか？ http://www.reconstruction.go.jp/topics/gaiyo.pdf
136	—	全体	復興している姿を、本計画書によって動画を取り入れ(電子書籍版)PDFは×でふくしまらしさを表現し、力強く、復興する計画書の存在を示していただきたい。

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
137	全体	<p>企画調整部復興・総合計画課におかれましては最先端の本当に大切な役割を担われている部署で職員さんもさぞ大変だと思いますが国の政策を待ってはいは 県民の健康被害が心配です。健康被害が表面化してこれば あらゆることに歯止めがかからず本当に 福島が崩壊してしまうのではないかと危惧しております。</p> <p>放射能の害の行く末は どんなに偉い学者が安全だと言っても(とくに福島に山下俊一氏がいるうちは)全員が安心できる状態ではありません。</p> <p>山下俊一氏をめぐっては 後世 絶対に責任問題に波及すると思います。</p> <p>いまからでも もっと慎重に健康被害の対策をしてください。</p> <p>データ収集だけでは 病気が見つかったも実験台になるばかりで 将来を思うといったたまりません。</p> <p>それをおそれの 県外流出であることを 再度認識しておかなければなりません。</p> <p>それでも福島を離れた方々も 本当のふるさととして福島を忘れることはないだろうと思います。</p> <p>福島を離れた人は、福島を支援する気持ちがつよいので そういったかたがたが、いつか福島にかえってきたり福島のためになにかできるような つながりをなくさないことも大切にしてほしいと思います。</p> <p>長い目でみても「みんなのふるさと福島」ということも盛り込んだほうがよいのではと思います。</p>
138	全体	<p>ウソの内容で復興や安心・安全を語ってもすぐにばれる。</p> <p>本当に福島県を復興させたかったら、まず本当のことを言うべきです。</p> <p>福島県は中通りまで全て放射能汚染により使えない土地になったということです。</p> <p>その上で原子力災害により帰れないところ(中通りまで)には相応の保障をもらって、放射能汚染の少ないところ(もう会津しか残っていない)に集まり、寄り添って復興を考えるのが遠回りなようで一番近道と思う。</p> <p>この方法なら、福島県のことを思う人が集まるはずです。</p> <p>いつまでも生殺し、住民が「どうせ私たちはモルモット」と思いながら生き続ける限り福島県は復興できない。</p> <p>現実を見よ、福島県は間違いなく縮んでいるのではないか！！</p>
139	全体	<p>現在、福島県の雇用情勢につきましては、復興需要や企業誘致により失業率などの指数が改善をみせているものの、将来的な安定を見込んだ雇用としての魅力を感じさせないものも多いのが実態であり、雇用のミスマッチとして仕事に関する問題は顕在化しております。</p> <p>公共工事や工場の誘致では、県民の努力による成長の絵姿を描くことが難しいこともあり長期的な成長には、個々の努力が反映される”創業”という働き方が推進されるべきであると考えています。これが、いきいきとして活力の満ちた”ふくしま”創造の一つの柱にしたいです。</p> <p>個人的な話ですが、私は東京を拠点とした活動から福島へと移りまして本件提出者であります「経営標準化機構株式会社」を設立致しました。福島県のスローガンであります「ふくしまからはじめよう。」とともに創業という”新しい働き方”を推進し復興への貢献に寄与できればと活動をしています。</p>
140	全体	<p>福島県の復興には、以前から議論されていた「福島への首都機能移転」を進めるべきであると思います。福島県に首都機能・国会が誘致されるなら、これ以上の復興政策・風評被害対策はないと思います。</p>

※ 対応方針は、現在検討中です。

ページ	該当箇所	意見内容
141	全体	<p>それから、残念ながら今の福島県はSPEEDIの件などもあり、県民の信頼は失われていると感じます。県民の信頼を回復するためにも、年間1mSvを超える地域に住む子供や妊婦に対して疎開の支援をすることも、復興政策として必要であると思います。</p> <p>福島への首都機能移転と1mSvを超える地域への疎開の支援、この2つの意見を復興政策に活かして頂きたいと思います。</p>
142	全体	<p>いわき市は被災しているのにそう見られていない。</p> <p>双葉郡の人が多くて交通事故が多い。</p> <p>交通指導も行って欲しい。</p> <p>信号無視とかも多く恐ろしくて運転できない。</p> <p>飛び出しも多い。(大人)</p>
143	全体	<p>スクールバスを運行させて欲しい。</p> <p>1年生なんてそこの辺触ったりなめたりする。</p> <p>恐ろしい。</p> <p>0.6近くある場所がかくれんぼなども平気です。どう思いますか？</p> <p>放射線が恐ろしい人だけの学校を作って欲しい。</p> <p>いろいろな考えの人がいると、精神が参ってしまう。</p> <p>給食なし、外体育なしの学校が地区に1つずつでもあると有り難い。</p>
144	全体	<p>原発から放射線が出てきたときの対策として、シェルターを作って欲しい。</p> <p>もしくはそのような機能の場所を指定して欲しい。</p> <p>スピーディは次回は素早く！2回プルーム浴びました。県のせいです。</p>
145	全体	<p>県庁から震災ニュースなどメールで素早く流すようにして欲しい。</p> <p>県民の信頼を取り戻せるよう頑張ってください。</p> <p>色々大変だとは思いますが・・・。私も福島は大好きです。本当に悔しいです。今は県外に行っても将来本当に収束したら戻りたいです。多分10年後だとは思いますが。</p>